

平成30年12月27日

原料費調整制度に基づく平成31年2月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成31年2月検針分の単位料金を、平成31年1月検針分に比べ、1m³(45MJ)につき0.76円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成30年9月～平成30年11月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で平成31年1月検針分と比較して、27円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成31年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,272.54	7,473.90
調整単位料金 (円/m ³)	131.64	110.48	98.09
(参考) 1月 調整単位料金	130.88	109.72	97.33

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	平成31年 1月	平成31年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,222	5,249	27

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	平成30年8月～平成30年10月 の平均 (1月検針分)	平成30年9月～平成30年11月 の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	29,650	30,620	970
LNG	61,240	63,310	2,070
LPG	70,680	72,040	1,360
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	2,300	3,200	900

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{63,310}{72,040} \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{72,040}{72,040} \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \frac{30,617.71}{100} \text{円/t} \\ &\quad \downarrow (100円未満四捨五入) \\ &= 30,620 \text{円/t} \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 30,620 \text{円/t} - 27,350 \text{円/t} &= 3,270 \text{円/t} \\ &\quad \downarrow (100円未満切捨て) \\ &= 3,200 \text{円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \frac{3,200}{100} \text{円} \times 0.08424^{*1} \\ &= 2.69 \text{円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	平成31年 1月	平成31年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,222	5,249	27

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,272.54円)} \\ &+ \text{調整単位料金(107.79円)} + \frac{2.69}{100} \text{円} \times 36\text{m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \text{\uparrow 単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円（0.078円に1.08（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。